

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	4年度
事業名	ことぶさ長寿記念事業費	担当課	長寿介護課
事業内容(簡潔に)	敬老祝金支給事業、百歳祝金支給事業		

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	思いやりあふれる福祉のまちづくり	
	政策	地域の絆で支え合い、助け合う、福祉のまちづくり	
	施策	高齢者福祉の充実	
関連する個別計画等		根拠条例等	蕪崎市敬老祝金支給条例 蕪崎市100歳祝金支給条例

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	高齢者に対し、敬老祝金を支給することにより、長寿を祝福し、敬老精神の高揚を図ることを目的とする。
事業の手段	敬老祝金：満88歳の方に1万円の支給と小学生からの手紙をお渡しする。 担当地区民生委員が各家庭を訪問し支給する。 100歳祝金：100歳に達した日から起算して30日以内に10万円を支給する。 希望者には市長が、その他には長寿介護課長が訪問し支給する。
事業の対象	敬老祝金：基準日（9月15日）において市内に6カ月以上住所を有する満88歳の方。 100歳祝金：市内に10年以上居住し100歳に達した方。

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		元年度	2年度	3年度
A	事業費 (千円)	4,225	2,832	2,786
財源内訳	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)			
	一般財源	4,225	2,832	2,786
B	担当職員数(職員E) (人)	0.1	0.1	0.1
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	672	658	659
D	総事業費(A+C) (千円)	4,897	3,490	3,445
主な事業費用の説明	報償費(祝金)、消耗品			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した元年度(6,715千円)、2年度(6,575千円)、3年度(6,582千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			元年度	2年度	3年度
活動指標	1 88歳祝金支給件数	当該年度支給件数	163	160	166
	2 100歳祝金支給件数	当該年度支給件数	9	12	11
	3				
妥当性	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	祝金の支給者に対し敬愛を表しており、受給する高齢者にとっては喜びとなっている。また、民生委員が訪問して祝金を支給することにより、各地区における高齢者の生活状況の把握にもつながっている。			
	2	100歳を迎えた方に祝金を支給することで、長寿を祝福し、高齢者の福祉と敬老精神の高揚が図られているため妥当である。			
	3				

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			元年度	2年度	3年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	支給率(88歳)	98.2	98.1	98.2
	2	支給率(100歳)	100.0	100.0	100.0
	3				
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と 成果の内容説明	1	直接訪問により居住等確認し、基準日以降資格喪失した方以外の対象者全てに祝金を渡すことが出来ている。			
	2	100歳の誕生日以降に祝金を渡しているため、100%の支給率となっており妥当である。			
	3				

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善(事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善(内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小(規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止(廃止の検討が必要)		
事務事業の改善案	改善の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	令和4年度の改善計画(今後の事業展開説明) 令和2年度より77歳の祝金を廃止したため、当面は事業を継続するが、今後も高齢化の伸張が予想されるため、社会情勢や財政状況も踏まえながら、対象者の範囲や支給額の見直しを検討していく。		
改善の経過	<ul style="list-style-type: none"> 敬老祝金 平成22年度まで: 80歳~87歳 3千円、88歳~99歳 5千円 平成23年度から: 対象者を満77歳、満88歳にする条例改正 ※経過措置として、平成23年度のみ78~80歳にも5千円支給 令和2年度から: 満77歳対象者を廃止とする条例改正 100歳祝金 平成18年度まで: 祝金100万円 平成22年度まで: 祝金30万円 平成23年度から: 祝金を現行に減らす条例改正 祝金10万円 		
直近の評価結果	内部評価	2年度	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
	評価時の改善案	生きる励みや糧となるよう、祝金支給時の民生委員による訪問時に、親切、丁寧な声かけをしていく。また、小学生からの手紙に対し、受給した高齢者からお礼の手紙を出したい等の声もあるため、毎月の民生委員会長会を通じて小学生への返事の仲介を行うなど支援していく。	
	外部評価	対象外	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
	評価時の対応	対象外	
課長所見	長寿を祝福し、多年にわたる地域社会への功績をねぎらうことを目的とした事業で、民生委員による高齢者の見守り活動も兼ねているため今後も継続することが望ましい。祝金と併せ小学生からの手紙を渡すことも高齢者の励みになっており、市の目指す健康長寿、健康寿命の延伸にも繋がる事業と考える。		